

2014年度（平成26年度）特別勘定の現況

●投資環境(2014年度)

日本株式市場

日経平均株価は、期初14,870円で始まりました。4月に5%から8%への消費増税が実施された直後の金融政策決定会合での現状維持決定を受け、4月中旬に同株価は今年度の安値となる13,885円まで下落しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定したことで外国為替市場において円安が進行し、輸出関連の大型株を中心に同株価は上昇し、12月には2007年7月以来の18,000円台まで到達しました。1月にはECBが量的緩和を3月に実施することを決定したことを好感し、米欧株価が上昇したこと等を受け、3月に日経平均株価は、2000年5月以来の今年度高値19,778円まで上昇しましたが、その後やや戻し期末は19,206円で終了しました。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初1,873.96で始まりました。4月上旬の米企業減益決算等により、同指数は1,814.36まで一時下落しました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念、米国金融政策の量的緩和終了やエボラ出血熱の感染者拡大等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時1,820程度まで下落しました。12月に原油価格の急落、ロシアルーブルの急落、1月にスイスフランの急騰等を受けリスク回避的に同指数が2,000前後まで下落する局面がありましたが、その後堅調に推移し同指数は2月に史上最高値となる2,119.59をつけました。期末は若干値を戻しS&P500は2,067.89で終了しました。また、英国のFTSE100は、期初6,598.37で始まりました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時6,072.68まで下落しました。その後は、徐々に上値を切り上げつつ堅調に推移し、同指数は3月には史上最高値となる7,065.08にまで上昇しました。その後、やや反落しFTSE100は6,773.04で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初0.64%で始まり、日銀の金融緩和策の買入継続等による国債の良好な需給環境を背景に、0.5%前後まで徐々に低下しました。9月には米国の早期利上げ観測や日本の株価上昇等に伴い、同利回りは0.58%程度まで上昇しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定すると、同利回りは0.44%程度まで低下しました。その後発表された2014年7-9月期GDPマイナス成長、消費増税の実施時期を2017年4月に確定すると安倍政権より意思表示があったことや日銀の追加緩和の効果等を受け、同利回りは1月に0.20%程度まで低下しました。1月下旬の金融政策決定会合で追加緩和策が見送られると同利回りは上昇に転じ、その後は0.30～0.50%程度の幅で推移しました。10年物国債利回りは0.40%で期末を迎えました。

外国債券市場

米国10年債利回りは、期初2.81%で始まりました。10月中旬にかけて、世界景気の減速懸念、エボラ熱感染者拡大、米国の量的緩和終了等を受けたりリスク回避的な動きから、同利回りは一時2.2%程度まで低下しました。また、年度後半に原油価格の下落が顕著となる中、インフレ率の低下、新興国経済の需要鈍化の観測等を背景に、同利回りは1月に1.64%まで低下しました。2～3月にかけては、米国労働市場の回復等を背景とする2015年内の利上げ観測等から2.2%程度まで同利回りが上昇する局面がありましたが、米国10年国債利回りは1.92%で期末を迎えました。また、ドイツ10年国債利回りは、期初1.56%で始まりました。その後、ECBによる追加緩和期待やデフレ懸念等を背景にほぼ年度を通じて同利回りの低下局面が継続しました。3月にはECBによる量的緩和導入が決定され、0.16%程度まで一段と低下しましたが、ドイツ10年国債利回りは、0.18%で期末を迎えました。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝103.07円で始まりました。4月～8月までは1米ドル＝100～105円程度の狭い幅での動きが継続しましたが、9月にはGPIF改革による海外投資拡大等への期待から1米ドル＝110円程度まで円安・ドル高が進行しました。10月下旬～月末にかけFOMCにおける米国の量的緩和終了決定、日銀による追加緩和の決定等により、円安・ドル高が一段と進行し、12月には1米ドル＝122円近辺にまで到達しました。その後、3月まで1米ドル＝115～122円程度の幅で一進一退の動きが継続し、1米ドル＝119.95円で期末を迎えました。また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝141.96円で始まりました。日銀の追加緩和決定による円安・ユーロ高が進行し、12月には1ユーロ＝149.78円に到達しました。その後、ECBの量的緩和導入決定等によりユーロは下落基調を強め、3月には一時1ユーロ＝126.91円まで円高・ユーロ安水準に到達し、1ユーロ＝128.68円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2014年度決算(決算日：2015年3月31日)を行いました。当資料は2014年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート(2015年4月発行(2015年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0807A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807A
現預金・コールローン	17
有価証券	1,168
公社債	1,168
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	3
貸倒引当金	-
合計	1,190

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807A
利息配当金等収入	18
有価証券売却益	3
有価証券償還益	-
有価証券評価益	107
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	122
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	6

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0807A	294 10年利付国債	-	-	44,000	44,577
	296 10年利付国債	-	-	19,000	18,889

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

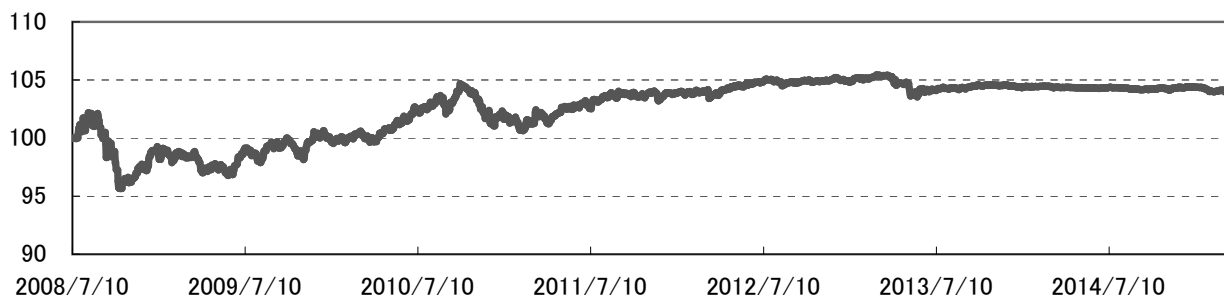
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0807A)	222	1,256

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0807A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.42%	-0.19%	-0.39%	3.94%	103.94

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,172	98.5%
現預金・その他*	17	1.5%
純資産総額	1,190	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	68.4%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	30.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0807B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807B
現預金・コールローン	26
有価証券	1,535
公社債	1,535
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	4
貸倒引当金	-
合計	1,566

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807B
利息配当金等収入	24
有価証券売却益	5
有価証券償還益	-
有価証券評価益	147
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	168
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	8

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0807B	294 10年利付国債	-	-	57,000	57,754
	296 10年利付国債	-	-	43,000	42,714

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

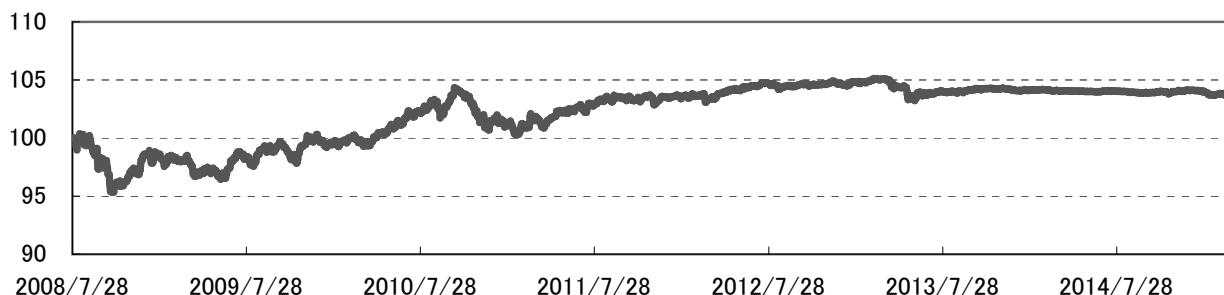
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0807B)	272	1,658

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0807B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月28日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.43%	-0.19%	-0.38%	3.65%	103.65

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,540	98.3%
現預金・その他*	26	1.7%
純資産総額	1,566	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	59.1%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	39.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0808A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808A
現預金・コールローン	39
有価証券	2,014
公社債	2,014
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	4
貸倒引当金	-
合計	2,057

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808A
利息配当金等収入	30
有価証券売却益	4
有価証券償還益	-
有価証券評価益	204
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	228
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	11

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0808A	294 10年利付国債	-	-	31,000	31,406
	296 10年利付国債	-	-	47,000	46,680

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

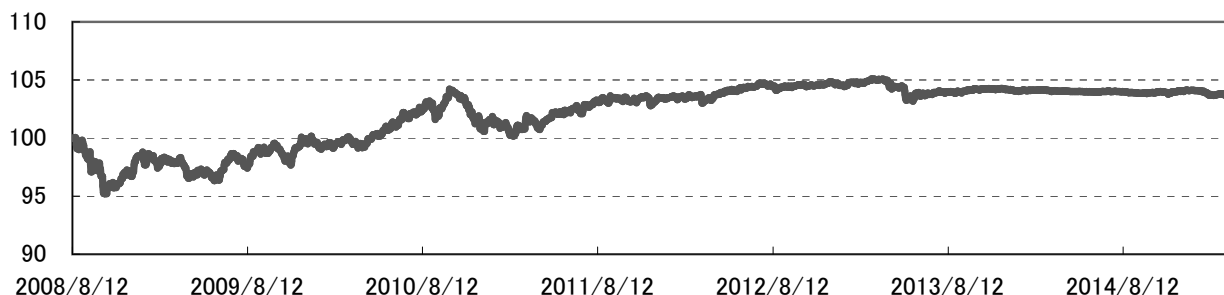
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0808A)	294	2,182

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0808A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月12日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.13%	-0.44%	-0.18%	-0.37%	3.64%	103.64

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,018	98.1%
現預金・その他*	39	1.9%
純資産総額	2,057	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	38.8%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	59.3%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0808B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808B
現預金・コールローン	40
有価証券	2,449
公社債	2,449
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	3
貸倒引当金	-
合計	2,493

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808B
利息配当金等収入	36
有価証券売却益	2
有価証券償還益	-
有価証券評価益	255
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	280
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	13

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0808B	294 10年利付国債	-	-	8,000	8,105
	296 10年利付国債	-	-	31,000	30,843

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

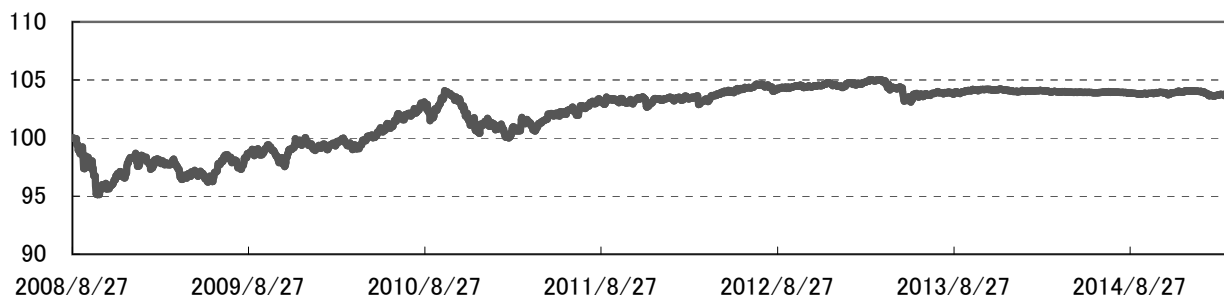
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0808B)	417	2,645

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0808B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.13%	-0.45%	-0.18%	-0.37%	3.58%	103.58

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,452	98.4%
現預金・その他*	40	1.6%
純資産総額	2,493	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	19.5%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	78.9%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0809A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809A
現預金・コールローン	38
有価証券	2,013
公社債	2,013
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	2,052

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809A
利息配当金等収入	28
有価証券売却益	0
有価証券償還益	-
有価証券評価益	219
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	238
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	11

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0809A	296 10年利付国債	-	-	10,000	9,950

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

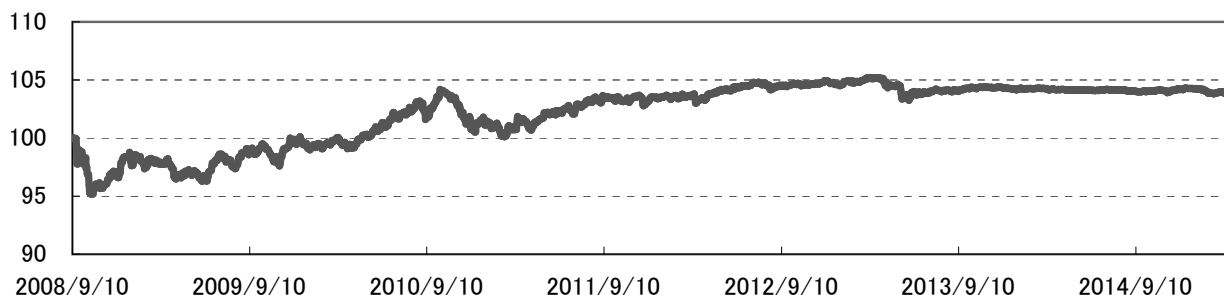
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0809A)	316	2,174

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.13%	-0.45%	-0.17%	-0.35%	3.79%	103.79

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,014	98.1%
現預金・その他*	38	1.9%
純資産総額	2,052	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.1%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0809B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809B
現預金・コールローン	35
有価証券	1,646
公社債	1,646
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	1,682

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809B
利息配当金等収入	23
有価証券売却益	4
有価証券償還益	-
有価証券評価益	180
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	199
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	9

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0809B	296 10年利付国債	-	-	69,000	68,654

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

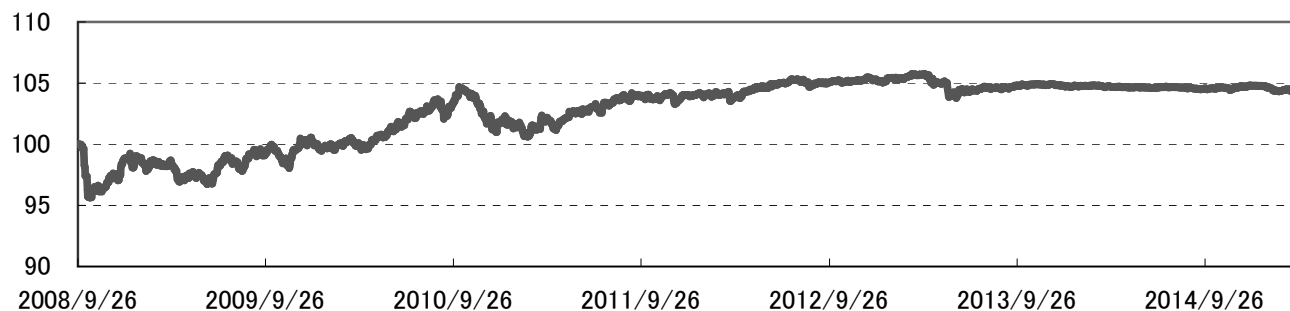
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0809B)	272	1,769

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月26日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.13%	-0.45%	-0.17%	-0.36%	4.30%	104.30

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,646	97.9%
現預金・その他*	35	2.1%
純資産総額	1,682	100.0%

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	97.9%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0810A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810A
現預金・コールローン	22
有価証券	1,231
公社債	1,231
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	1
貸倒引当金	-
合計	1,255

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810A
利息配当金等収入	17
有価証券売却益	2
有価証券償還益	-
有価証券評価益	85
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	97
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	7

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0810A	296 10年利付国債	-	-	41,000	41,840
	298 10年利付国債	-	-	17,000	17,033

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

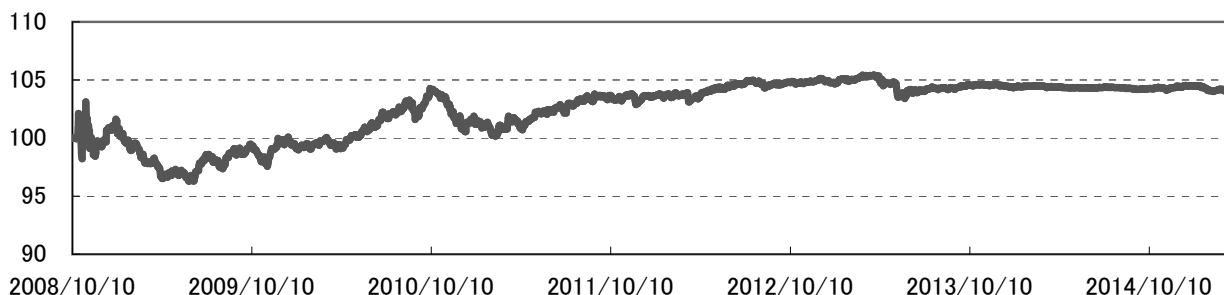
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0810A)	182	1,326

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0810A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.13%	-0.46%	-0.15%	-0.34%	4.01%	104.01

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,232	98.2%
現預金・その他*	22	1.8%
純資産総額	1,255	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	68.3%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	29.8%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0810B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810B
現預金・コールローン	9
有価証券	428
公社債	428
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	439

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810B
利息配当金等収入	6
有価証券売却益	1
有価証券償還益	-
有価証券評価益	30
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	35
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0810B	296 10年利付国債	-	-	22,000	22,468
	298 10年利付国債	-	-	13,000	13,028

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

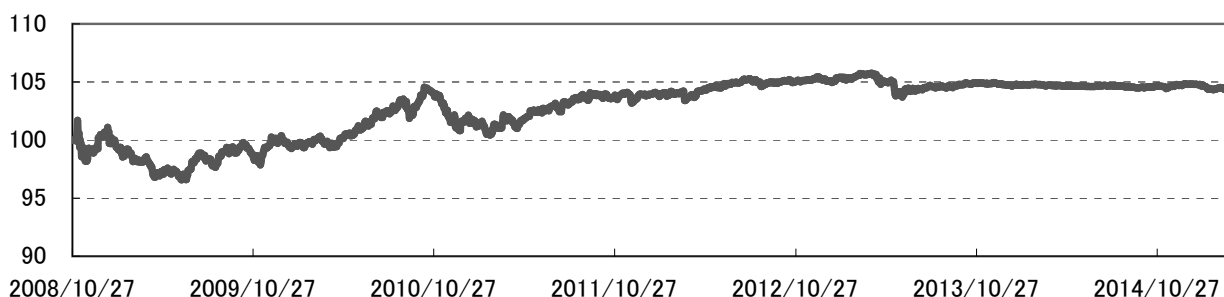
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0810B)	82	462

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0810B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.13%	-0.46%	-0.15%	-0.34%	4.32%	104.32

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	429	97.8%
現預金・その他*	9	2.2%
純資産総額	439	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年2月27日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	58.6%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	39.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0811A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811A
現預金・コールローン	10
有価証券	366
公社債	366
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	378

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811A
利息配当金等収入	4
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	28
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	30
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0811A	296 10年利付国債	-	-	-	-
	298 10年利付国債	-	-	-	-

※2014年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2014年度末)

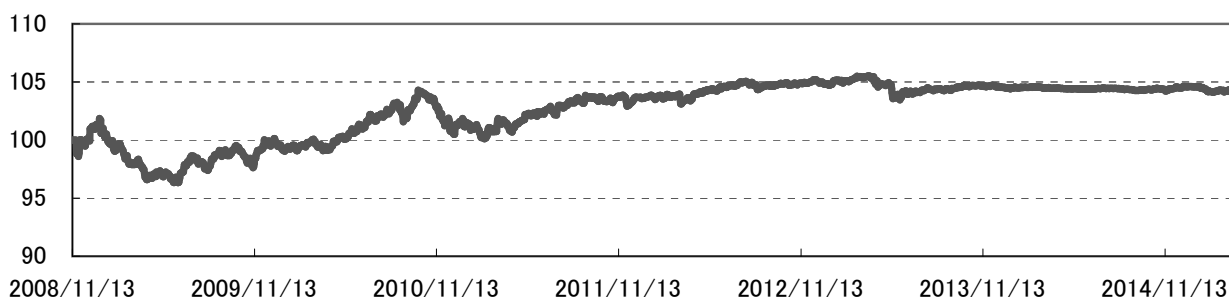
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0811A)	76	399

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0811A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月13日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.46%	-0.14%	-0.32%	4.11%	104.11

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	367	97.2%
現預金・その他*	10	2.8%
純資産総額	378	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	37.5%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	59.7%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0811B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811B
現預金・コールローン	10
有価証券	281
公社債	281
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	293

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811B
利息配当金等収入	3
有価証券売却益	0
有価証券償還益	-
有価証券評価益	23
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	25
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0811B	296 10年利付国債	-	-	-	-
	298 10年利付国債	-	-	2,000	2,004

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

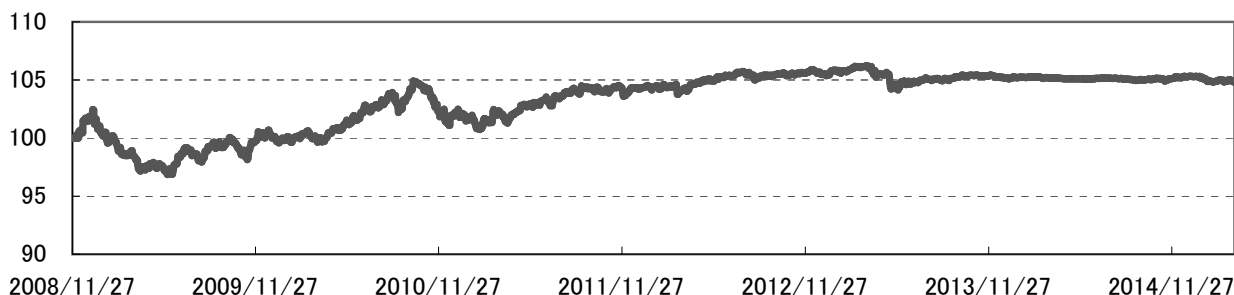
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0811B)	59	307

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0811B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.46%	-0.14%	-0.32%	4.81%	104.81

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	282	96.4%
現預金・その他*	10	3.6%
純資産総額	293	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月9日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	19.0%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	77.4%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0812A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812A
現預金・コールローン	10
有価証券	281
公社債	281
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	292

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812A
利息配当金等収入	3
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	25
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	26
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0812A	298 10年利付国債	-	-	-	-

※2014年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2014年度末)

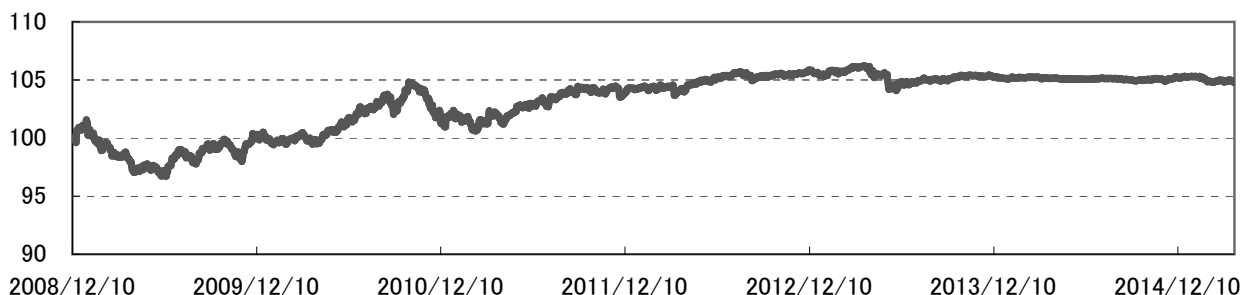
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0812A)	53	306

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0812A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.46%	-0.13%	-0.31%	4.80%	104.80

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	282	96.5%
現預金・その他*	10	3.5%
純資産総額	292	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月3日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.5%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0812B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812B
現預金・コールローン	6
有価証券	148
公社債	148
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	155

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812B
利息配当金等収入	1
有価証券売却益	0
有価証券償還益	-
有価証券評価益	11
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	12
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0812B	298 10年利付国債	-	-	2,000	2,012

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

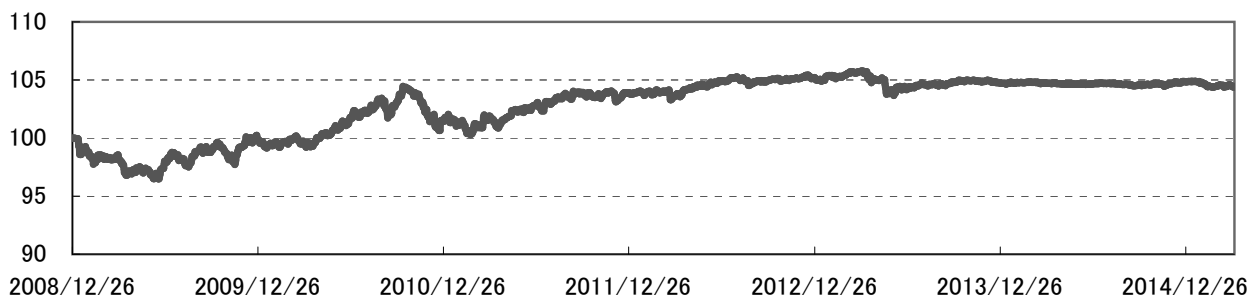
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0812B)	24	163

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0812B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月26日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.46%	-0.13%	-0.31%	4.37%	104.37

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	149	96.0%
現預金・その他*	6	4.0%
純資産総額	155	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年1月23日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.0%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0901A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0901A
現預金・コールローン	3
有価証券	74
公社債	74
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	78

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0901A
利息配当金等収入	0
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	6
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	6
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0901A	298 10年利付国債	-	-	-	-

※2014年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2014年度末)

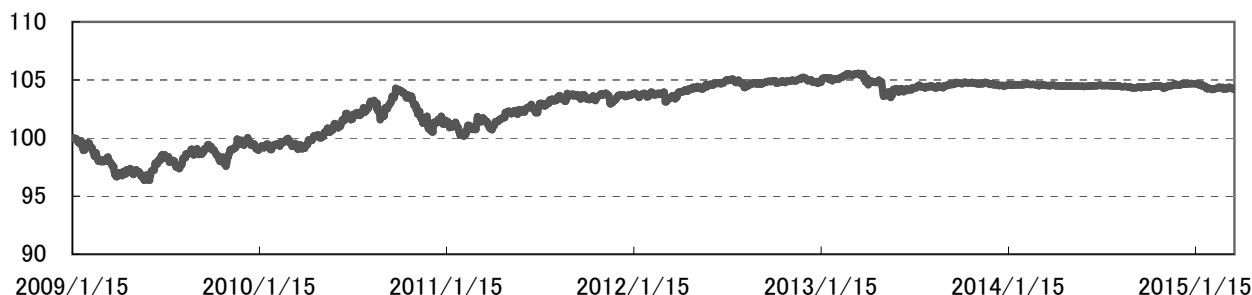
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0901A)	16	82

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0901A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2009年1月15日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2015年3月末現在 ユニットプライス
-0.12%	-0.46%	-0.13%	-0.32%	4.18%	104.18

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	74	95.3%
現預金・その他*	3	4.7%
純資産総額	78	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	95.3%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。また、契約日から1年未満の解約もしくは一部引出には別途「解約控除」がかかります。

■運用期間中の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用	
		投資信託による運用	公社債等による運用
保険関係費用 (保険契約管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用で、死亡保険金額および年金原資を最低保証するための費用などを含みます。特別勘定の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.08%^{*2}	特別勘定の純資産総額に対して 年率0.90%
資産運用関係費用 (資産運用管理費) ^{*1}	保険関係費用以外で、特別勘定の運用にかかる費用です。特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率0.90%程度^{*3}	資産運用関係費用はかかりません。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、年率0.90%となります。

*3 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、信託報酬はかかりません。

■解約もしくは一部引出した場合の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用
解約控除	契約日から1年未満 ^{*4} で解約もしくは一部引出した場合、解約控除対象額 ^{*5} から控除されます。	解約控除対象額に対して 0.20%

*4 1年未満とは、契約日から1年後の年単位の契約応当日の前日までの期間をさします。

*5 解約控除対象額とは、解約の場合は解約日の積立金額、一部引出の場合は一部引出額をさします。

■年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約) ※将来、以下の内容が変更になることがあります。

項目	費用の概要と適用方法	費用
保険関係費用 (年金管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用です。 年金支払開始日以降、支払年金額に対して右記の率を乗じた金額を、 年1回の年金受取日に責任準備金から控除します。	支払年金額に対して 1.0%

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(年金保険)です。特別勘定は主に国内外の株式・債券等の値動きに連動する投資信託に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じる可能性があります。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。このため、預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも、年金原資には最低保証があります。ただし、年金原資が最低保証されるためには、運用期間(契約日から10年間)満了まで運用いただくことが必要です。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせ  0120-155-730 受付時間 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	---